

抄録

環境経済・政策学会の設立から 30 年が経過し、年々深刻化する環境問題に対して、研究成果の学術的意義に加え、政策貢献においても重要な役割を求められるようになってきた。本稿では、環境経済学・政策学分野における今後の研究の進展を期待し、気候変動が日本の農業へおよぼす影響と農家の適応問題について、適応策の推進のために私たちが取り組むべき政策課題を報告する。